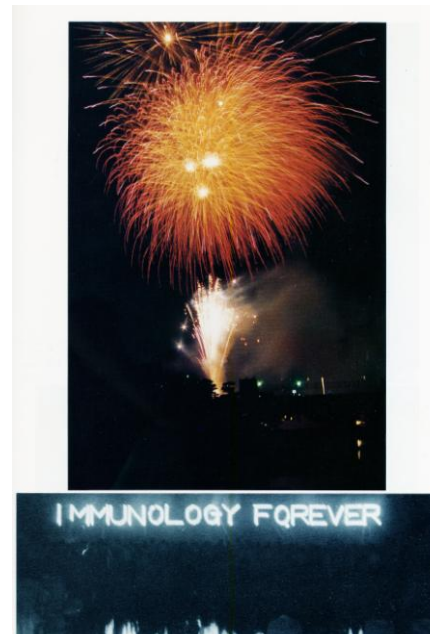


2010 年国際免疫学会議・組織委員会ニュース

第 10 号:平成 22 年1月 15 日 組織委員会・阪大事務局発行

明けましておめでとうございます。いよいよ ICI 2010 本番の年です。これまで、本ニュースは組織委員にのみ配布しておりましたが、今回からは日本免疫学会一斉配信メールを介して、より多くの方々へ配布させていただきます。

さて、右の写真は、1983 年の京都での第 5 回国際免疫学会議の際のパーティーでの打ち上げ花火と、参加者一同をうならせた Immunology Forever の仕掛け花火を示すものです。この時の参加者が総数約 4,000 人、このうち約 2,200 人が海外からでした。現在の日本免疫学会総会学術集会への総参加者が約 2,500 人ですから、海外からの参加者は大変な数でした。今回も是非、多くの方々を海外からお招きするとともに、日本免疫学会員全員の参加が期待されます。ICI 2010 は、岸本忠三会長のもと、日本免疫学会が総力をあげて行う会議です。くれぐれも皆様のご協力をよろしく願います。



まず、免疫学会の一斉配信メールでもお伝えしていますが、下記のことにご注意下さい。

1. **学会発表のための抄録提出期限は、わずか 2 週間先の 2 月 3 日です！**これを過ぎると、ICI 2010 での口頭発表あるいはポスター発表ができなくなります。来年は日本免疫学会総会学術集会が開催されませんので、この機会を失うと、再来年（2011 年）の 12 月まで日本免疫学会による学術集会はありません。くれぐれもご注意下さい。なお、すべての抄録提出はオンラインで <http://www.ici2010.org/> から行って下さい。原則として、すべての提出された抄録はポスター発表となり、その中から各ワークショップの座長により口頭発表の演題が選ばれます。
2. 登録料の支払いも上記のサイトからオンラインで可能です。**早期登録割引は 5 月 31 日までです。**早期登録の場合、一般の方は 40,000 円、学生は 10,000 円ですが、5 月 31 日を過ぎると、一般の方は 45,000 円、学生は 15,000 円となりますので、ご注意下さい。
3. ホテルの予約も上記サイトから既にできるようになっています。

http://www.ici2010.org/ac_tours.html#accommodations に様々なホテルの一覧表が出ています。会議間際になると、予約が一杯となり、希望のホテルに宿泊が出来なくなりますので、早めのご予約をお勧めします。

4. 日本免疫学会から若手のための ICI 2010 参加助成（一人 3 万円、70 名まで）が決定されました。抄録の筆頭著者が対象になります。詳細は <http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsi2/> をご覧下さい。

以上のこと以外に、大事なおしらせは次のようです。

- プログラムの詳細（シンポジウム演者名、マスターレクチャーの演者名と講演タイトル）は既に ICI 21010 のウェブサイト（<http://www.ici2010.org/>）に公開されています。
- ワークショップ座長は原則として、日本人、外国人各 1 名です。現在、日本人座長が全て決まり、半数以上の外国人座長からの承諾状が届いています。
- 世界各国の免疫学会が若手会員の ICI 2010 参加のための奨学金制度を作り、これまでに当事務局に報告があっただけでも、合計約 600 名の若手研究者に旅費援助が与えられる予定です。
- 次の企業が当会議の冠スポンサーとなる予定です。
ゴールドプラス： 中外製薬
ゴールド： 田辺三菱製薬、eBioscience, ライフテクノロジーズジャパン
シルバー： BioLegend/トミーデジタルバイオロジー、
日本ベクンディキソン、CSL ベーリング
ブロンズ： ノバルティス、全薬工業、大日本住友製薬

もし、皆さんの関係で、他に冠スポンサー希望企業候補をご存じでしたら、事務局あるいは財務委員会（山本一彦、小安重夫両委員長）宛にお知らせ下さい。



当面、以上ですが、皆様からも組織活動に関するニュースがありましたら、遠慮なく、事務局までお知らせください。

阪大 ICI 2010 事務局：師井（もろい）悦子

tel. 06-6879-3971, fax. 06-6879-3979

e-mail: 2010ici@orgctl.med.osaka-u.ac.jp (I はエルです)

(文責：2010 ICI 組織委員会事務局長・宮坂昌之)